

重点テーマ別報告

環境

中長期ビジョン

限られた地球資源のなかで持続可能な社会を形成していくために、環境法規の遵守はもとより、あらゆる事業活動において環境との関わりを認識し、環境への負荷を低減するとともに生物多様性を保全する。

DNPグループは、「DNPグループ行動規範」のひとつに「環境保全と持続可能な社会の実現」を定め、より具体的な活動に結びつけるため、「DNPグループ環境方針」を策定しています。あらゆる事業活動において環境との関わりを認識し、環境負荷低減のみならず地球環境保全を見据えた活動を展開しています。

中長期ビジョンに対応するSDGs



中長期ビジョン達成状況を測る指標および実績

中長期ビジョン達成状況を測る指標	目標値	2017年度実績
環境活動目標・実績一覧へ(42ページ)		

環境管理体制

DNPでは、グループ全体の環境活動を統括する組織として「CSR・環境委員会」を設け、事業領域ごとの国内外の活動を統括する組織として「各事業部・グループ会社環境委員会」を設けています。各委員会にはそれぞれ事務局および推進室を置いています。

● CSR・環境委員会

本社のCSR・環境担当役員(常務取締役)を委員長として本社基本組織の担当役員によって構成され、グループ全体の環境方針や目標、計画などの審議・決定を行い、計画推進・目標達成状況をチェックしています。

● 各事業部・グループ会社環境委員会

CSR・環境委員会の決定と事業領域の特性をふまえて、海外拠点を含めた活動を展開しています。

重点テーマ別報告

環境

環境マネジメントシステム

DNPは、ISO14001が発行される以前の1993年に、独自の環境マネジメントシステム(EMS)を構築しています。これは、DNPグループCSR・環境委員会事務局が作成する「エコレポート」と、各事業部・グループ会社環境委員会が作成する「サイトエコレポート」の2つのツールを骨子として、半年ごとにPlan-Do-Check-Actionのサイクルを回すシステムです。「エコレポート」では、環境問題の動向や法改正状況、活動方針、DNPグループ全体の目標達成状況をとりまとめ、各事業部・グループ会社環境委員会および各サイトに配布します。「サイトエコレポート」には、サイト単位で目標、計画、活動状況を記録します。各事業部・グループ会社環境委員会は、サイトエコレポートを活用して自サイトの状況を把握し、CSR・環境委員会に総括報告書を使用して報告します。

CSR・環境委員会と各事業部・グループ会社環境委員会は、指導会や実践会、連絡会などを通じて改善活動を行い、定期的に開催する環境活動推進会議で進捗を確認しています。

DNPが認識する社会課題

パリ協定における日本の温室効果ガス中期削減目標： 2030年までに2013年の水準から26% (日本政府/2015年)

パリ協定とは、2015年にフランスのパリで開かれた「国連気候変動枠組条約締約国会議(通称COP)」で合意された、2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みです。温室効果ガスの増加などによって地球温暖化が進み、世界各地での被害の拡大が危惧されるため、世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2°Cより十分低く保ち、1.5°Cに抑える努力をすることとしています。日本も2016年に批准しています。企業においても、目標達成に貢献するさまざまな対応が求められています。

重点テーマ別報告

環境

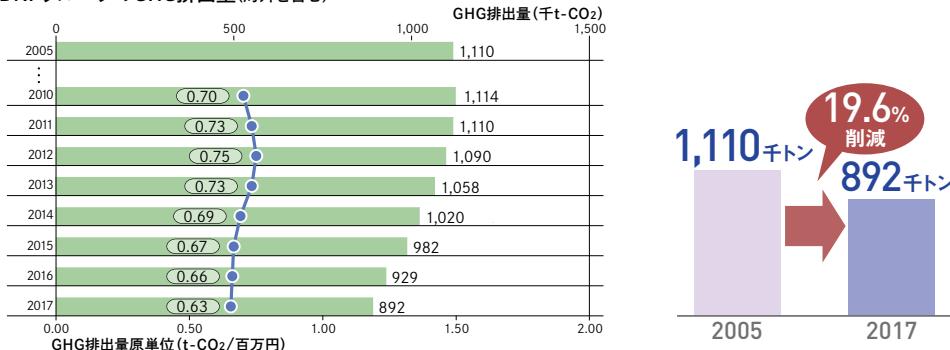
社会課題解決に向けたDNPの取り組み

DNPの気候変動への取り組み

DNPは、気候変動への対応は、世界的に最も重要で喫緊の課題のひとつであると考え、2020年度および2030年度までの温室効果ガス（GHG:greenhouse gas）排出量削減目標を定め、グローバルで取り組みを行っています。海外拠点を含むグループ全体のGHG排出量について、2020年度までに2005年度比10%、2030年度までに同20%を削減する目標を掲げ、空調設備や動力の省エネ、製造ラインの運用改善、熱源機器の高効率化などに取り組んできました。その結果、基準値である2005年度排出量1,110千トンに対して2017年度の実績で892千トンと、19.6%削減し、2020年目標を達成しました。

また、製品やサービスを通じた環境負荷の低減にも取り組み、サプライチェーン全体における気候変動への対応を進めています。

DNPグループのGHG排出量(海外を含む)



※ 電気の排出係数については、電気事業連合会の2005年度の使用端CO₂排出原単位0.423 [kg-CO₂/kWh] を一律に用いました。

DNPグループの温室効果ガス削減目標が「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の認定を取得

2017年度で2030年度目標をほぼ達成したことから、国際的な枠組みに沿ったGHG排出量削減目標を設定しました。この目標が、パリ協定の「2°C目標」を達成する上で科学的な根拠がある水準であると認められ、2018年7月に国際的な環境団体「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の認定を取得しました。今後もDNPは、省エネ活動や省エネ設備の導入など、GHG排出量の削減活動を一層強化します。



DNPグループのGHG排出量削減目標：2030年までに2015年度比25%削減

またScope3では、主要サプライヤーに対し、2025年までのSBT取得を促し、サプライチェーン全体でGHG排出量の削減を進めていきます。